

町田をもっと楽しむためのコミュニティマガジン



まちびと

MACHI
BITO

2018 秋冬

TAKE FREE

特集◎
美術館・博物館に
でかけよう



十一月のまちびと

藤森 重紀

風の気配にふりかえると

散りしきる紅葉も

ひかりの旋律に変わっていく

噴水の虹を合図に

落ち葉を踏み

ミュージアムに集う

幾人ものアーティストたち

廻廊の棚に

さりげなく置かれた

謎多い版画家の伝記

まだ見ぬ絵の秘密が

そこにあるかのように…

この秋

ふいに思い立ち

煉瓦色の建物を訪ねたのは

いずれのまちびとからの

ことづてであったろう



まちびと
MACHI-BITO

2018年 秋冬号 題字 三橋国民

発行日 2018年11月15日
発行 町田市市民部市民協働推進課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
町田市役所2F
TEL 042-724-4362 FAX 050-3085-6517

企画・制作 株式会社VisionDesign
〒194-0021 東京都町田市中町1-17-11-3F
TEL 042-711-7770 FAX 042-711-7804

表紙撮影 タカオカ邦彦

6 特集1
美術館・博物館にでかけよう

10 特集2
随筆家・町田市名誉市民 白洲 正子
生涯走り続けた
日本の美の探訪者

12 特集3
指揮者・町田市名誉市民 荒谷 俊治
圧倒的な人間力と
薫り高い音を紡ぎ出す情熱と。

14 街を歩く
小山田

16 Theまち人 file021
鞍掛台自治会

18 Theまち人 file022
NPO法人 LaMano

20 マチダdeグルメ
特別な日に訪れたいお店

22 Machibito-Snap
「町田のイメージを漢字一文字で表すと」

24 まちびと写真館 其の十一

25 NEWS & INFORMATION

26 プレゼント&アンケート

28 カイルカードのマチダ・ダマシイ

29 まちびとひろば



この冊子は40,000部制作し、1部あたりの単価は76円です
(職員人件費を含む)

*本紙掲載の写真・記事等の無断転載および複写を禁じます
*尚、本紙の表記内容は2018年11月15日現在のものです

第12回 市民協働
フェスティバル

まち カフェ!

いいことさがし
～未来と感動を共有するまちだ～

2018年 12月2日(日)10時～16時

町田市役所 1階～3階および外の一部

ご来場の際は公共交通機関を
ご利用いただきますようお願いいたします。

主催:まちカフェ!実行委員会

学校法人東京町田学園 町田・デザイン専門学校
作成者:イラストレーション科 飯野 咲良



名称
交差点 町田市役所
バス停 「町田市役所市民ホール前」

交通手段
● 小田急線町田駅西口から徒歩約8分
● JR横浜線町田駅中央口小田急線連絡口から徒歩約11分
● バス停留所「町田市役所市民ホール前」徒歩約1分



1. 版画工房は初心者対象の講座などが催されている 2. 葛飾北斎『諸国瀧廻り 相州大山ろうべんの瀧』天保4年(1833)頃 町田市立国際版画美術館蔵

**町田市立
国際版画美術館**

緑豊かな芹ヶ谷公園の一角に1987年にオープンした版画専門美術館。葛飾北斎、歌川広重、ピカソやレンブラントなど世界に名だたる芸術家の作品をはじめ、収蔵数は3万点超。企画展示室と常設展示室のほか、アトリエ、版画工房、講堂、市民展示室などがあり、制作や発表をすることもできる。

原町田4-28-1 042-726-2771 平日: 10時~17時(入場16:30迄) 土日祝: 10時~17時30分(入場17時迄) 月休(祝日の場合は翌日) 企画展有料

町田にはアートを楽しむ施設がとて充実している。国内外の版画作品を収蔵している世界的にも珍しい国際版画美術館、畦地梅太郎の工房「あとりえ・う」、三橋國民の鎮魂祈念館をはじめ、市民ア

ーティストの隠れた名作を鑑賞できるギャラリーなど実に多彩だ。講演会やワークショップなど、魅力的なイベントも目白押し。この秋は町田でたっぷりアートに触れてみよう。

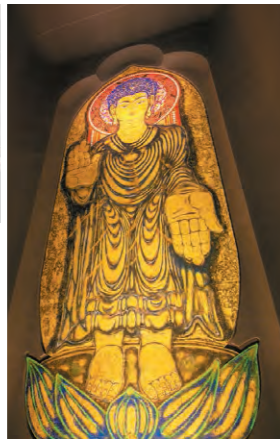
01 アートに触れて
感性を磨く



三橋國民 鎮魂祈念館

造形美術家・三橋國民(名誉郡民・名誉市民)のギャラリー。太平洋戦争で奇跡の生還を果たし、鎮魂をテーマに生涯製作活動を続けた。

原町田3-3-17 勝楽寺釈迦堂L階 042-722-3147 9時~17時 無休 入館無料



あとりえ・う(畦地梅太郎ギャラリー)

山の版画家と異名をとる畦地梅太郎は町田市初の名誉市民。今なお多くのファンを魅了する作品や仕事道具を生前仕事に打ち込んだ工房で見ることが出来る。

鶴川1-13-12 042-734-8586 11時~16時(入館15時30分迄) ※夏季は11時~17時開館 月~水休 入館無料



可愛いグッズもいっぱい!



**アトリエminamo
ジオラマギャラリー**

大型鉄道ジオラマが常設され、見て作って遊べるギャラリー。夕刻からは夜景モードに。

原町田4-16-21 キムラヤビル2F-1 042-851-8085 平日 12時~20時 土日祝 11時~19時 月火休 入場無料



町田市フォトサロン

写真展の企画をはじめ、写真愛好家の個展、グループ展、また経験豊富なスタッフのアドバイスが受けられる撮影会や講座も開催している。

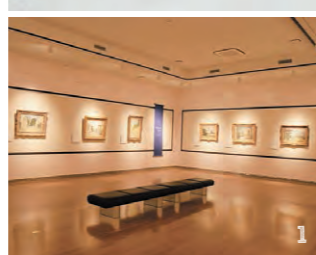
野津田町3272 薬師池公園内 042-736-8281 9時30分~16時30分(入館16時迄) 火休(祝日の場合は翌日) 入館無料



西山美術館

『考える人』で有名なロダンや、パリのモンマルトルを多く描いたユトリロ専門の美術館。世界の銘石や庭園散策も楽しめる。

野津田町1000 042-708-2480 11時~17時(入館16時30分迄) 月火休 入場料1,200円



1・ユトリロの収蔵数では世界第2位を誇る 2・カフェではマイセンの器でコーヒーが楽しめる

VARIOUS MUSEUMS



特集 1

美術館・博物館に
でかけよう

この秋、町田で
観て、触れて、学ぶ。

一度は行っておきたい町田を代表する美術館や博物館
作家のエネルギーが宿るアトリエや貴重な資料館
見逃せない展覧会にギャラリー・トーク:
美術館・博物館は新しい発見がいっぱい!

あとりえ・う



ふるさと農具館

農機具や生活道具を展示するふれあい館、パネル展示館、体験実習館の3棟があり、七国山で収穫した米種を月1回絞り、販売している。

野津田町2288 042-736-8380
11月～1月: 9時30分～16時
2月～10月: 9時30分～16時30分
月休(祝日の場合は翌日) 入館無料



火のついた炭を入れて使用した昔のアイロン



東京家政学院 生活文化博物館

身近な暮らしと結びついた生活文化とその歴史を明らかにすることを目的に1990年に開設した。近年は母体となる東京家政学院大学・旧短期大学が収集した資料を中心に展覧会を開催。

相原町2600 042-782-9814 9時30分～16時30分
土日祝休、大学入試・夏季冬季休業・展示替え期間休館
入館無料



特別展「きもの、乙女たちのハレ姿」では美しい和服類が展示される



忠生がにやら自然館

蝶など昆虫類の自然資源の展示室、大小の講習室やボランティアルームなどがある。「がにやら」は「カニのすみ谷戸」という地元の呼び名「ガニヤラ」に由来。

山崎町1804-1 042-792-1326 9時～16時30分
月休(祝日の場合は翌日) 入館無料



昭和薬科大学 薬用植物園

温室棟を中心に草本植物区、木本植物区、水生・湿生植物区、林下区などからなる総面積1万8,000㎡の敷地には、漢方薬の原料となる薬用植物が中心に植えられ、珍しい野鳥や昆虫も生息。毎週土曜日公開。

東玉川学園3-3165 042-721-1585 10時～16時 入園無料



← 温室棟



← カワワイグサの花



町田市立博物館

1973年「町田市郷土資料館」として開館し、1976年に名称を「町田市立博物館」に改称。市内の埋蔵文化財や民俗資料のほかに、ガラス器・陶磁器・

本町田3562 042-726-1531 9時～16時30分 月休(祝日の場合は翌日)
入館料300円(中学生以下無料、障がい者半額)

ポヘミアガラスのコレクションは国内でも屈指

ヨーロッパ懐中時計・風俗画・大津絵等の美術工芸品を収集して広く公開するだけでなく、様々な特別企画展やイベントを開催している。



歴史や芸術、民俗、自然科学など、様々なジャンルの資料を閲覧できるのが博物館。収蔵品の中には長い時を超えて今に至る貴重な資料や、町田で見られないオンリーワンの品々も。町田に関する資料が豊富に揃う市立博物館



知識を深め、知性を磨く 02

や自由民権資料館、小島資料館は、町田の成り立ちや歴史に触れることができる場所。知識を深め、知性を磨けるだけでなく、町田への愛着も深まるはず。さあ、この秋は博物館にかけよう。



町田市立自由民権資料館

自由民権運動や町田の歴史に関する資料を中心に展示・保管している。自由民権運動に関わった村野常右衛門が私財を投じた文武道場「凌霄館」

野津田町897 042-734-4508 9時～16時30分 月休(祝日の場合は翌日) 入館無料



板垣退助の式辞(1916年)

跡地に1986年に建てられた。常設展「武相の民権／町田の民権」では、武相地域(多摩を含めた当時の神奈川県)の自由民権運動の資料を展示。



旧白洲邸 武相荘

白洲次郎と白洲正子が1942年から移り住んだ茅葺屋根の邸宅で、当時の二人の生活を窺い知ることができる。白洲家のカレーが食べられるレストランも併設。

名な次郎の遺書
能ヶ谷7-3-2 042-735-5732
10時～17時(入館16時30分迄)
月休(祝日は開館) 入館料1,050円



近藤や沖田の手紙や稽古着、新選組の墨印などを展示



24代当主の小島政孝館長
ドクロの寂は清は近藤東の妻がしたものだですよ!

小島資料館

新選組の近藤勇・土方歳三らが剣術の出稽古に訪れていた小島家に残る新選組や町田の貴重な資料を収集、公開している私設資料館。

小野路町950 042-736-8777 13時～17時 毎月第1・3日曜のみ開館
※1・2月は冬季休館 入館料600円(小学生300円)



町田市考古資料室

埋蔵文化財の宝庫と言われ、数多くの遺跡や土器類が発掘されている町田市。その中から、縄文時代を中心に約200点の遺物を展示。実際に触れることができる石器も。

下小山田町4016 042-727-9661(開室日のみ) 10時～16時
9～6月は第2・4土日と祝日のみ開室
入室無料



玉川学園6-1-1 042-739-8656 9時～17時(入館16時30分迄) 土日祝休 臨時休館有 入館無料



玉川大学 教育博物館

日本教育史、芸術、民俗、考古、グールド鳥類図譜、ガスバール・カサドおよび原直恵子関係、そして創立者小原國芳関係、校史関係などを収蔵し、精選した約500点を公開している。独自の企画展も随時開催。

03 期間限定! っておき企画展情報

近場で楽しめるアートや文化イベントはまだいっぱい。編集部がセレクトした気になるイベントを少しだけご紹介。

幕末・維新期の町田ー激動の時代を生きた人びとー	10月6日(土)～11月25日(日)	自由民権資料館	042-734-4508
「明治の教育と博物学ー子どもたちが学び楽しんだ、自然をめぐるモノづくしー」	10月29日(月)～1月27日(日)	玉川大学教育博物館	042-739-8656
和光大学芸術学科の学生によるアートプロジェクト「サトヤマアートサンボ2018」	11月9日(金)～11月18日(日)	黒川駅南口～明治大学黒川農場周辺	044-965-5112
第30回 特別展「きもの、乙女たちのハレ姿」	11月12日(月)～12月21日(金) 1月7日(月)～2月8日(金)	東京家政学院大学町田キャンパス	042-782-9814
加藤土師萌展 色絵磁器を極めた人間国宝 その技とデザイン	12月8日(土)～1月27日(日)	町田市立博物館	042-726-1531
第5回 FUGA展(平面作品)	12月12日(水)～12月16日(日)	市民ホールギャラリー	042-736-6728
浮世絵と百人一首	1月5日(土)～4月7日(日)	国際版画美術館	042-726-2771
つるし雛の作品展「つり雛まつり」	2月17日(日)～3月3日(日)	芹ヶ谷ひだまり荘	090-5515-0266
玉川学園雛めぐり	2月21日(木)～3月3日(日)	玉川学園各ギャラリー	042-725-8122

※イベントは予告なく中止・変更となる場合があります。年末年始の休館など詳細は直接お問い合わせください。

1.もとは隠居部屋だった小部屋を書斎に。おびただしい数の蔵書もそのまま残る 2.緑や花が絶えない里山の自然に囲まれた旧白洲邸「武相荘」 3.著作は単著だけでも約80冊を数える。装丁にもこだわり、着物地を使った特装本なども 4.晩年のお気に入りミッソニを着る 5.夫白洲次郎氏とのツーショット 6.母屋の居間には調度品も残り、正子の生活の様子が窺われる



生涯走り続けた 日本の美の探訪者

33歳にして移り住んだ鶴川の地と「武相荘」。その一角にある北向きの小部屋から数々の著作は生み出された。幼少から親しんだ能に生涯向かい合い、それを一つの軸として縦横無尽に日本の美へと分け入って行く。その探訪は終生尽きることなく続いたという。

特集 2 随筆家・町田市名誉市民 白洲 正子

白洲正子(しらすまさこ) 1910年1月7日東京・永田町生まれ。随筆家。33歳のとき、東京空襲を機に終の棲家「武相荘」に移り住む。著書に『お能の見かた』『かくれ里』『西国巡礼』『日本の

たくみ』『両性具有の美』など多数。1997年町田市名誉市民。1998年88歳で没

白洲正子の著書『かくれ里』の冒頭に次のような一節がある。「秘境と呼ぶほど人里離れた山奥ではなく、ほんのちよっと街道筋から離れた所に、今でも『かくれ里』の名に相応しいような、ひっそりした真空地帯があり、そういう所を歩くのが、私は好きなのである」――町田市鶴川に今も残る白洲次郎・正子夫妻が暮らした邸宅「武相荘」。そこに、相通じる趣きを感じる人も多いのではないか。

1910(明治43)年、白洲正子は東京・麹町永田町で樺山伯爵家の次女として生まれた。父・愛輔は実業家・貴族院議員。父方の祖父・樺山資紀は薩摩出身の軍人。政治家で警視總監や海軍大臣を歴任している。正子は自分に薩摩人の血が流れていることを強く感じていたという。幼少より能の稽古に親しみ、14歳のときに女人禁制の能舞台に女性として初めて立つ。「お能を徹底的にしたことが、私の人生にとつてはよかった」と本人が語るように、能は、古典に通じ、日本人の精神世界や美意識に深く分け入っていく後の著作のバックボーンともなっていく。

その後アメリカへ留学。帰国後、19歳で白洲次郎と結婚する。白洲夫妻が鶴川を終の棲家としたのは1942年。百年以上を経た茅葺き屋根の養蚕農家を買収取つたことだ。折しも太平洋戦争が始まって食料も不足し始めたころのこと。東京での食糧難や空襲を予見してのことでもあるが、正子がかねてから静かな農村に住みたいと思っていたと書いている。

当初は住める状態ではなかったという家を、修繕を重ね、茅葺きの屋根を葺き替えて住んだ。古いものを大切にしつつ、絶えず手を入れながら住まう、そうした暮らしを正子は気に入っていたという。庭には四季を通じて木の花、草の花が咲き、自給自足を志して畑仕事に熱中したとも述べている。

1943年、最初の著書『お能』を刊行。以降、最晩年まで、日本文化全般に関する随筆の執筆に取り組み続ける。戦後は小林秀雄、青山二郎らと親交を結び、文学や骨董の世界に深く踏み込んで、審美眼を深めていった。自らを「好奇心が強く」「何事につけ素手で飛び込んで行く以外にできない性分」と語る正子は、常に自分の眼で見、足を運んで執筆した。東奔西走する姿は晩年も変わらず、数々の名紀行を生んでもいる。骨董の師匠・青山二郎をして「草駄天お正」と言わしめたのは伊達ではない。

白洲正子の著書『かくれ里』の冒頭に次のような一節がある。「秘境と呼ぶほど人里離れた山奥ではなく、ほんのちよっと街道筋から離れた所に、今でも『かくれ里』の名に相応しいような、ひっそりした真空地帯があり、そういう所を歩くのが、私は好きなのである」――町田市鶴川に今も残る白洲次郎・正子夫妻が暮らした邸宅「武相荘」。そこに、相通じる趣きを感じる人も多いのではないか。

1910(明治43)年、白洲正子は東京・麹町永田町で樺山伯爵家の次女として生まれた。父・愛輔は実業家・貴族院議員。父方の祖父・樺山資紀は薩摩出身の軍人。政治家で警視總監や海軍大臣を歴任している。正子は自分に薩摩人の血が流れていることを強く感じていたという。幼少より能の稽古に親しみ、14歳のときに女人禁制の能舞台に女性として初めて立つ。「お能を徹底的にしたことが、私の人生にとつてはよかった」と本人が語るように、能は、古典に通じ、日本人の精神世界や美意識に深く分け入っていく後の著作のバックボーンともなっていく。

その後アメリカへ留学。帰国後、19歳で白洲次郎と結婚する。白洲夫妻が鶴川を終の棲家としたのは1942年。百年以上を経た茅葺き屋根の養蚕農家を買収取つたことだ。折しも太平洋戦争が始まって食料も不足し始めたころのこと。東京での食糧難や空襲を予見してのことでもあるが、正子がかねてから静かな農村に住みたいと思っていたと書いている。

当初は住める状態ではなかったという家を、修繕を重ね、茅葺きの屋根を葺き替えて住んだ。古いものを大切にしつつ、絶えず手を入れながら住まう、そうした暮らしを正子は気に入っていたという。庭には四季を通じて木の花、草の花が咲き、自給自足を志して畑仕事に熱中したとも述べている。

1943年、最初の著書『お能』を刊行。以降、最晩年まで、日本文化全般に関する随筆の執筆に取り組み続ける。戦後は小林秀雄、青山二郎らと親交を結び、文学や骨董の世界に深く踏み込んで、審美眼を深めていった。自らを「好奇心が強く」「何事につけ素手で飛び込んで行く以外にできない性分」と語る正子は、常に自分の眼で見、足を運んで執筆した。東奔西走する姿は晩年も変わらず、数々の名紀行を生んでもいる。骨董の師匠・青山二郎をして「草駄天お正」と言わしめたのは伊達ではない。

1. 町田市名誉市民章としてのメダル。表彰式には最愛の妻・和子さんと長女の葉子さん、長男の俊太郎さんと出席し、記念演奏ではサプライズでタクトを振った 2. 横浜みなとみらい大ホールの1ショット(2017年8月) 3. 世界の名ホールを巡るツアーの第一弾、ウィーン楽友協会大ホールでベートーヴェンの第九を演奏(2004年12月) 4. 思い出の詰まった楽譜やタクト 5. 名誉市民の表彰式で石坂市長(右)、若林市議会議長(左)とともに



荒谷俊治(あらたにしゅんじ) 1930年東広島市生まれ。福岡県中学修猷館から旧制福岡高等学校へ進学。バレエ部に所属し、旧制高校最後の全国制覇を果たす。九州大学法学部・文学部卒。町田フィルハーモニー交響楽団では1975年以来音楽監督・常任指揮者を務め、現在は桂冠指揮者 30年以上にわたる音楽・文化の発展に寄与した功績で2002年



指揮を石丸寛氏、作曲を高田三郎氏に師事し1959年東京放送合唱団指揮者デビュー。1968年～1974年東京フィルハーモニー交響楽団指揮者 1974～1980年名古屋フィルハーモニー交響楽団常任指揮者 東京都文化功労者表彰 2003年～2012年日本指揮者協会会長 2004年地域文化功労者文部科学大臣表彰 2018年町田市名誉市民

圧倒的な人間力と 薫り高い音を紡ぎ出す情熱と。

2018年春、4人目の町田市名誉市民が選ばれた。荒谷俊治氏は指揮者として60年のキャリアを持ち、その活動は国内外での演奏にとどまらずアマチュアの育成や芸術の普及など多岐にわたっている。日本指揮者協会の会長まで務めた人徳者でカラヤンならぬ『アラヤン』の愛称で、多くの人から慕われ、そして愛されている。

特集 3

指揮者・町田市名誉市民 荒谷俊治

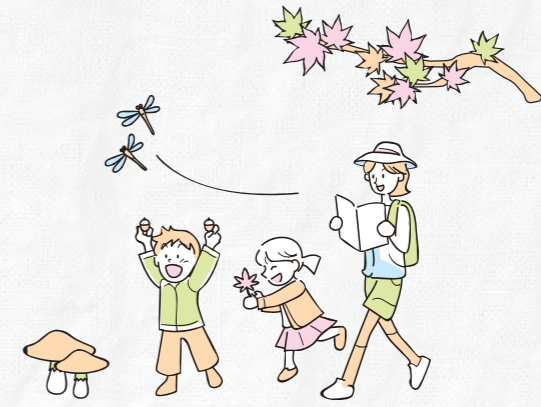
フィル*の設立協力と指導を嘆願した。以来、惜しめない愛情を注いだ町田フィルは桂冠指揮者となった今でもホームのような大切な場所となっている。2001年に設立した町田市芸術協会では芸術活動の普及に懸命に取り組み、解散するまでの12年間、異なる文化を持つオーケストラやバレエ、合唱、オペラをまとめ、総合芸術の舞台をいくつも演出した。荒谷氏の魅力はその音楽性にとどまらず、人を惹きつける人間力にもある。リーダーシップとおおらかな人間性。全国の音楽家から愛され、慕われる人徳こそが、音楽の中に映し出され、音となり響き渡っているのかもしれない。「フレームズとドヴォルザークが好きですね。心に残った演奏は…たくさんありすぎて選べないな。どの演奏にも思い出があります。作曲家や作詞家の想い、作品のテーマ、それらを全て受け止めて見出した自分のテーマで、音楽を創っています。音には色も薫りも厚みもある。皆の気持ちが一つになった時の音は素晴らしいですよ。」信じた音に近づけるため、全身全霊でタクトを振り続ける88歳。名誉市民となった今も、その情熱が潰えることはない。

荒谷俊治氏が音楽家としての第一歩を歩み始めたのは九州大学の学生の時だった。法学部で弁護士を目指していた彼は、九大フィルハーモニー・オーケストラと福岡合唱協会の一員で、そこで生涯の師となる石丸寛氏に出会う。指揮の手ほどきも石丸氏から受けた。法学部を卒業した後、音楽を続けるために文学部に再入学する。卒業後は上京した石丸氏のあとを追って荒谷氏も上京した。東京での生活は苦しく、NHKの『みんなの歌』や『うたのメリー・ゴールラウンド』で編曲や指揮をして生計を立てた。そんな生活を送りながら2〜3年が過ぎた29歳の秋、東京放送合唱団の指揮者として待望のデビューを果たす。その後38歳で東京フィルハーモニー交響楽団の指揮者となり、その翌年には文化庁の派遣でアメリカへ留学、もう一人の師と仰ぐ、ジョージ・セルに指導を受ける。彼の計らいでクリヴランド管弦楽団を指揮する好機にも恵まれた。指揮者としてのキャリアを積み上げる一方で、荒谷氏はアマチュアの育成にも取り組んだ。1972年に南つくし野に引っ越してくると、噂を聞きつけた町田の音楽愛好家たちが彼のもとを訪れ、町田

街歩き

11
eleventh
step

小山田



兼倉 倉幕府の有力御家人の一人、小山田氏が本拠地としていた大泉寺を中心に、小山田エリアには、多摩丘陵の谷戸をはじめとする広大な自然がたくさん残っています。長閑な田園風景や鶴見川の源流域、果てしない眺望が美しい小山田緑地など、大自然と悠久の歴史を感じる貴重なエリアです。秋の深まりとともに茜色に色づく自然を愛でながら、のんびりとしたウォーキングが楽しめます。



F 野中山 正山寺

平成27年に開山四百年を迎えた浄土真宗東本願寺派の末寺。美しい阿弥陀如来や富士山も拝める高台の景色も秀逸。



E 小山田神社

承安年間(1171~4)、小山田有重の内室を祀って建てられた。参道脇の蓮は大賀藕絲館の手工芸品の材料にされる。



G 小山田1号遺跡

小山田桜台団地造成中に発見された平安末期~室町期の有力武士の屋敷跡。現在は調査時の臨場感を再現している。



H 谷戸池公園

カルガモも訪れる谷戸池をのんびりと回遊できる公園。周囲にクヌギ・コナラ等の雑木林を整備している。



I 尾根緑道

相模原陸軍造兵廠の戦車のテストコースとして作られた通称「戦車道路」。春には満開の桜に大勢の市民が訪れる。



J 町田市大賀藕絲館

大賀ハスや紅花など季節の自然素材で作る工芸品や雑貨、スイーツを販売する。クリスマスやお正月向けの品も。



K 町田市考古資料室

縄文時代の土器や石器など、市内の遺跡から発掘された約200点の貴重な遺物を無料公開している。



D 大泉寺バス停

半世紀以上前に建てられた古いバス停。中に貼られた手書きの広告には吉川百貨店や懐かしい名前がたくさん。



C 小山田緑地

開放的な広場や水辺、雑木林など多摩丘陵の原風景が楽しめる。みはらし広場から望む景色は関東富士見百景の一つ。



B 補陀山 大泉寺

小山田氏の城址と伝わる曹洞宗の寺院。長い参道の先の山門や本堂は荘厳な佇まい。見学の際はお寺に申し込みを。



A 大谷里山農園

大自然の中で田植えや稲刈り、野菜収穫、タケノコ掘り、ピザづくりなどの農業体験ができる。年間を通して様々なイベントを実施。

Event

里山農園 秋まつり

11月23日(金・祝)

10:30~14:30 大谷里山農園

毎年恒例、収穫の季節の秋まつりは特産販売会や焼き芋の無料配布。今年は「自然」をテーマに、ツリークライミング体験、木の実を使った工作など、里山ならではの楽しみも満載。雨天中止(詳細はHPから)

長年培った団結力で
高齢者の外出支援に取り組む

鞍掛台自治会



加入に関するお問い合わせ 町田市町内会・自治会連合会 042-722-4262

今、町内会・自治会の存在意義が見直されている。特に地震や水害などの大きな災害時には地域で助け合った事例が数多く報告されているが、町田市の町内会・自治会のなかでも、地域の課題に向き合い、独自の取り組みで生活の向上を図ろうとしている自治会がある。この区域に在住している世帯の約9割以上、330世帯が加入する成瀬の鞍掛台自治会だ。

1 960年代に分譲が進んだ鞍掛台。住民の高齢化が進むこのエリアは、車椅子も使えない急勾配の坂が多いうえにバス停までの距離もあり、高齢者を中心に買い物や通院など外出困難者の増加

が問題となっている。一人暮らしの高齢者も年々増えており、自治会では独自の見守りネットワークで対策を行ってきた経緯がある。そんな鞍掛台自治会が推し進めている打開策が『鞍掛台買物・外出支援プロジェクト』だ。まちだ〇ごと大作戦』のチャレンジにも認定され、2019年1月の運用を目指し準備を進めている。

実は、このエリアには過去に新聞配達店が購読世帯を対象に独自に運営していた送迎サービスがあった。しかし、数年前にこのサービスが廃止され、利用者が不便を訴えていたのだ。そんな状況を受け、自治会も継続して対策を検

討していたが、自治会員へのアンケート調査で回答があった200世帯のうち、6割が外出支援を切望していることが分かり、本格的に計画を進めることになった。

具体的には近隣の社会福祉事業者の送迎車両とドライバーを空き時間に利用させてもらい、不便を解消しようとするプランだ。2018年1月に近隣の社会福祉事業者や高齢者支援センター、あんしん相談室、社会福祉協議会を含めたプロジェクトチームを立ち上げ、月に1回のミーティングで計画を練ってきた。現在はルート確認やスケジュール調整、テスト走行など最終段階に入っている。

こうした取り組みの原動力となっているのは、それまで培ってきた自治会の団結力にある。その中でも中心的な役割を担っているのが、ソフトボールクラブのメンバーたちだ。36年前から成瀬鞍掛スポーツ広場で毎週練習を続けてきた彼らは、同自治会だけでなく、近隣町内会と合同で行うイベントでも常にキーパーソンとして積極的に活動している。

会長の山岸さんは「会長は輪番制ですが、ソフトボールクラブを中心に、自治会は団結して地域の課題に向き合ってきました。お正月にはどんど焼きや防災訓練、桜のシーズンにはお花見を、夏には花火大会といった自治会の活動拠点として、スポーツ広場も地元住民が集う大切な場所となっています。このプロジェクトもうまく運用できるのか、周知はどうするのかなど、まだまだ取り組まなくてはならない部分がありますが、皆で団結して乗り越えていきたいと思っています」と抱負を語る。

自分たちのまちは皆で守り、地域で支えていく。そういった自治の精神が自然と息づいているエリアなのだ。



A



B



C



F



E



D

A. 40年近く、毎週欠かさず練習を続けてきたソフトボールクラブ。実力はもちろん、連帯感も抜群に強い B. C. 防災訓練はどんど焼きと同日開催することで参加者増につながった D. 右から防災見守り支援隊の代表を務める海老澤さん、中村さん E. 会長の山岸さん F. 右からソフトボールクラブの代表を務める本間さんと寺口さん

多くの人の“手”に支えられ 紡がれていくもの

NPO法人 LaMano



The Machibito — Chiki ni Ikiru

町田市金井の閑静な住宅街の奥、ひときわ深い緑に囲まれた古民家がクラフト工房 LaMano (以下ラ・まの)だ。ここでは知的や身体に障がいを持った27名の利用者が、生き生きと働いている。

工房内に置かれた年代物の桐箆の引き出しには、彼らが制作した色とりどりのマフラーや手ぬぐい、布やポーチなどが並ぶ。丁寧な手仕事で作られた作品は、どれも味わい深い一点もので、総アイテム数は50種に及ぶ。

この工房は、福祉的な意味合いでの役割と、クラフトやアート作品を生み出す工房としての存在意義を併せ持っています。これからも利用者の皆さんと地域とも連携しながら、質の高いものづくりを続けていきたいと思っています。」

ラ・まのが健全に運営できている理由の一つは、サポートする実の大勢のボランティアがいるおかげだ。その数は年間通して延べ1千名。それぞれが自身のできる範囲でラ・まのを支えている。「近所の方やメンバーの親御さんをはじめ、多くのボランティアの方が参加してくれています。内容はアイロンや縫製などの製品の仕上げ作業や畑、花壇の手入れ、イベントの手伝いなど様々です。参加の回数は、月に1回の方もいますし、中には「ここに来ると癒される」と言って繰り返し来られる方もいます。」

ラ・まのは1987年に三輪でスタートした障がい児の造形教室がルーツ。金井に移転したのは1993年、NPO法人になったのは2008年のこと。織り物と染め物、刺繍を行う工房と、2006年にできたアート活動のアトリエ、そして畑もある。作業時間は1日約6時間、それぞれが得意な仕事を担い、スタッフが作業工程のサポートなどを行い製品が完成する。

2009年から施設長を務める高野賢二さんは、染色の指導員として2000年にラ・まのに入社した。「彼らとはものづくりを共に行う仲間として接しています。障がいの部分に対する支援は必要ですが、彼らが自分の居場所として、こうした製品づくりに携わっていること、それは本人たちにも家族にとっても、支える私たちにとっても誇らしいことです。」

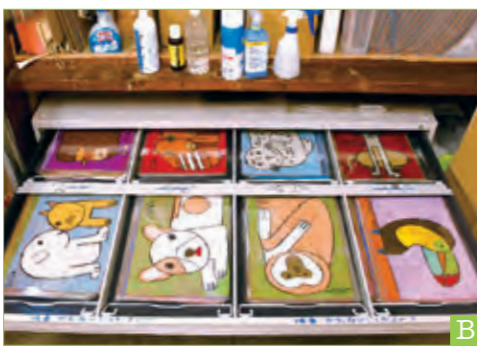
アート作品は美術展で表彰されることも多く、2017年にはフランスで開催された障がいの文化芸術国際交流事業で工房から3人の作品が選ばれた。郵便局で販売される年賀状のモチーフに採用されたり、TOKYO2020公認文化オリンピアードとして、東京都やアーツカウンシル東京が実施するプロジェクトにも参加している。

地域との連携にも積極的に、近くの金井中学校とは継続してワークショップを行ったり、文化祭にはブース出展もしている。周辺の住民が、染織教室に参加したり、気軽に買い物に訪れるなど、地域にオープンなところもラ・まのの特徴の一つである。

スペイン語で「手」を意味する『La Mano』。利用者の個性的な手で丁寧に紡ぎ出された作品の背景には、数えきれない善意の手がたくさんあった。



A



B



C



D



E



A. 織りの工房には本格的な機織り機が12台。鮮やかな草木染の糸で織ったマフラーはラ・まのの人気商品 B. 作品が年賀状に採用されるなど、アーティストとして全国で企画展も開催される尾崎文彦さんの作品 C. ラ・まのに携わって20年を迎える施設長の高野賢二さん DE. それぞれの強みを活かした仕事に従事するのがラ・まの流。驚くべき集中力で美しい作品を紡ぐ利用者たち

お箸でいただくフレンチ割烹
La Saison Nishiyama

数々の有名店で料理長を務めたシェフの豊かな美学が息づく隠れ家レストラン。席数わずか10席、お料理は旬の食材を用いた全8品のおまかせコース。オープンキッチンのライブ感も楽しんで。

町田市原町田4-17-1 042-732-3360
18:00~21:30(LO)
不定休 要予約
<http://la-saison-nishiyama.com/>



コース 10,800円 (サービス料別)



鰻重 3,820円~ (税・サービス料別)

明治43年創業。伝統を継承する老舗
八十八 町田店

古民家の佇まいでいただける鰻と和食。天然ものにこだわった鰻と代々受け継いだ秘伝のタレ、熟練した職人が一つ一つ手焼きする伝統の技。

町田市原町田4-6-11 櫻村館1F 042-710-3388
平日11:30~14:30(LO14:00)、17:30~21:30(LO21:00)
土日祝11:30~21:30(LO21:00)
無休(12/31・1/1 鰻供養祭の日は除く)
<http://www.yokohamayasohachi.com/machida/access>



天然ものの江戸前鮨と創作料理
久満 崙

昭和61年創業、旬と鮮度にこだわった天然素材のお鮨と創作料理がいただけるお店。日替わりのおススメ料理を美味しいお酒でちょっとずついただくのが久満崙スタイル。

町田市原町田6-17-3 2F・3F 042-728-0019
月~土 11:30~13:30、17:00~22:00(LO22:00)
祝日 17:00~22:00(LO22:00) 日休
<http://www.sushi-kumaki.com/>



超特にぎり 3,240円 (税込)



ランチコース 4,500円~ (税・サービス料込)

有機野菜をふんだんに使った美しい正統派フレンチ
緑山松田家

閑静な住宅街の一軒家レストラン。星付きレストランで腕を磨いたシェフが紡ぐフレンチは、五感を刺激する一皿。ランチは2組、ディナーは1組限定。

町田市三輪緑山3-18-20 044-572-4820
11:30~15:00(LO13:00)、
18:00~24:00(LO21:00)
月休(祝日の場合は翌火休) 要予約
<https://www.midoriyama-matsudake.jp/>



ディナーコース 6,500円 (税・サービス料込)

四季のうつろいもご馳走に。自然の中の一軒家レストラン
俊宣茶房

画家の別邸をリノベーションしたレストランは、軽井沢の森の中にあるような静寂が漂う。フレンチに和テイストを加えたお料理のコースはフレッシュな野菜もたっぷり。ランチなら3,600円、ディナーは5,000円~。どちらも税・サービス料込。

町田市野津田町1599-6 042-736-8878
11:30~15:00(LO13:30)、17:30~21:00(LO19:00)
火休 要予約
<https://syunsensabo.owst.jp/>



マチダ de GOURMET
MACHIDA de GOURMET
グルメ
Vol. 1

お誕生日や
記念日に

特別な日に訪れたいお店

the restaurant to visit on a special day

心に残る大切な日は、普段より少しだけ贅沢をして
景色の綺麗なレストランやご馳走を食べに行きませんか？



あなたが抱く『町田のイメージ』を漢字・文字で表してください



大迫 傑選手



西野 博子さん



どきどきキャンプ 佐藤 満春さん



西山 英司さん



山本 真亜子さん



伊藤 将太さん



志村 芳彦さん



石井 敬子さん



菊池 遼さん



成沢 重幸さん



柴原 育美さん・美筋さん・宣宇くん



野津 真央さん・小林 学さん



西沢 典雄さん・高野 賢二さん・高橋 研登さん



菅原 浩さん



内田 梨香さん



石田 一太郎さん



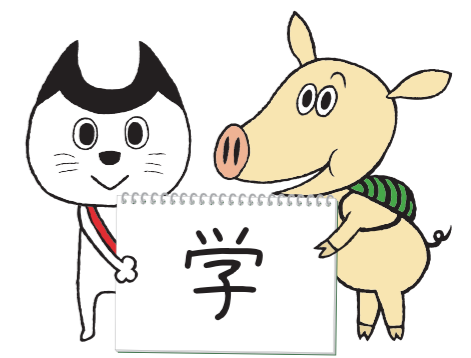
伊賀 智子さん・宮崎 洋子さん・藤井 賀江子さん・鈴木 蕉子さん



三好 貴浩さん



船木さん・山岸さん・海老澤さん



生涯学習センター イメージキャラクター
マニヤミン・マナブウ

架空請求にご注意を



登録手数料や退会手数料など理由をつけて高額な料金を請求してくる架空請求。被害を未然に防止するため、専門相談員が出向いて消費生活出前学習会を実施し、トラブルの事例や詐欺の手口、対処法などを紹介している。悪質商法の被害から身を守るためにもぜひ活用を。お申し込み・お問い合わせは消費生活センターで受け付け中。また事業者との契約トラブルや架空請求、多重債務等の相談は来所または相談専用電話042-722-0001へ。

町田市消費生活センター 042-725-8805

みつはしちかこ展 —恋と、まんがと、青春と—



©Chikako Mitsuhashi

期間 10月20日(土)～12月24日(月・振休)

場所 町田市民文学館ことばらんど

家族とともに玉川学園に暮らした漫画家のみつはしちかこ。『小さな恋のものがたり』『ハイあっこです』などの漫画作品をはじめ、自身が編集を手がけた雑誌『いつかどこかで』で発表されたイラストや詩画、少女時代からたしなできた俳句などを紹介する。みつはしちかこの足跡を顕彰する町田市初の本格的展覧会。10時～17時 一般400円 大学生・65歳以上200円

町田市民文学館ことばらんど 042-739-3420

2050年の地球環境と 市民生活を考える



期日 11月25日(日)

場所 生涯学習センター7階ホール

生活に即したテーマで学ぶ「まちだ市民大学HATS」の公開講座。東京大学名誉教授の安井至氏に、エネルギー問題、地球の気候変動を抑えるパリ協定、温暖化懐疑論など、行政や市民が未来に向けてより良い生活を送るための長期的課題について伺う。イベントダイヤル042-724-5656(11/18まで)または生涯学習センター(11/19以降)で申し込み。14時～16時 入場無料

町田市生涯学習センター 042-728-0071

まちなかシネマ MACHIDA



期間 毎月最終(12月・3月は第3)金曜日

場所 町田ターミナルプラザ市民広場

2019年3月まで毎月最終金曜日に開催される映画無料上映会「まちなかシネマ」。屋外大型スクリーンでの迫力ある映像がJR横浜線町田駅ターミナル口からすぐ、ベデストリアンデッキ直結の町田ターミナルプラザ市民広場で楽しめる。11月30日は『モンスターホテル』、12月21日は『アーサー・クリスマスの大冒険』を上映予定。19時～ 雨天決行 入場無料

町田市産業政策課 042-724-3296

第3回 まちだ里のマルシェ



期日 12月1日(土)

場所 野津田農村伝道神学校グラウンド

地産地消をテーマに定期開催している『里で見つける いいモノ、いい場所、いい出会い』。作り手と買い手が顔の見える関係で、里山環境・文化を愛し未来につなごうと活動している。生産者とおしゃべりしながら、町田市と周辺のおいしいものを買って、自然の中でのんびり遊ぶ、豊かで贅沢な時間をぜひ！10時～14時 運営ボランティアも募集中。詳細はまちだ里のマルシェのFacebookで。

実行委員会事務局 090-1955-7129

町田フィル ミニコンサート



期日 1月26日(土)

場所 和光大学ポブリホール鶴川

1975年から地域音楽文化振興の中心的な役割を担ってきた町田フィルハーモニー交響楽団。年2回の定期演奏会では披露できない管楽・弦楽など小編成のアンサンブルによる気軽なコンサート。ラプソディー・イン・ブルー/ガーシュイン、セレナード第2番(第1楽章)/ブラームス、交響曲第40番(第1楽章)/モーツァルト(ほか)。19時30分開演 入場無料(チケット発券の場合あり)詳細は町田フィルのFacebookで。

まちびと写真館

其の十一

つくし野オペラコンサート

昭和59(1984)年4月29日



東敦子さんは、町田フィルの団員と共に早朝練習にも参加し当日を迎えた。毎年4月29日は、この日のために他の予定は決して入れなかったという。

撮影した場所

東急田園都市線 つくし野駅前



駅前が劇場と化した日

風の強い、ある晴れた日の午後。普段は閑静なつくし野の駅前が、聴衆で溢れ返った。1984年から12年間続いた「つくし野オペラコンサート」は、駅前が再開発で綺麗になったとき、近くに住んでいた東敦子さんの一言がきっかけで始まった。「この煉瓦は歌声が綺麗に響きそう。イタリヤでは、街のあちこちから歌声が聞こえてくるのよ。」

東敦子さんは日本人として初めてウィーン国立歌劇場の舞台に立った日本が誇るソプラノ歌手だ。透明感あふれる歌声と圧倒的な表現力で日本オペラ界を牽引した。

タクトを振ったのは町田フィルを創設時から指導してきた荒谷俊治氏。ロッシニ「セヴィリアの理髪師」序曲の軽快な音色が響き渡ると、駅前の空気は一変した。中には九州から駆け付けたという人もいた。駅では切符が無くなり、駅員が手作りしてその場をしのいだという。

世界のプリマドンナの歌声と町田フィルが紡ぐ音の旋律が一つとなり、街を包み込んだ。その夢のような午後は、今でも記憶の片隅で想い出と共に美しい音色を放ち続けている。

ご応募は…

✉ 封書で

右下のアンケート用紙を切り取ってお送りください

〒194-0021
東京都町田市中町1-17-11-3F
株式会社 VisionDesign
まちびと編集部

☎ FAXで

右下のアンケート用紙をFAXでお送りください

FAX
042-711-7804

@ e-mailで

タイトルに「まちびと」とつけ、本文にアンケートの答えや氏名を記載してお送りください

machibito@vision-design.biz

PRESENT & QUESTIONNAIRE
まちびと

プレゼント & アンケート

「まちびと」秋冬号をお読みいただき、ありがとうございました。

これからもさらに充実した「まちびと」を作るために、
たくさんのご感想・ご意見をお待ちしています。

プレゼントを希望される方は、アンケートにご回答いただき、奮ってご応募ください。

応募締切＝2019年1月20日必着 ※Bのみ12月19日必着



PRESENT A

1組
2名様

社会風刺コント集団
ザ・ニューズペーパーin町田

【日時】2019年2月2日(土) 14:30開演
【会場】町田市民ホール(小田急町田駅徒歩7分)

スタイルを変えずに、日々刻々と変わる「ニュース」を素材にコントを仕上げ舞台化。政治、経済、事件…モロモロの社会情勢を笑いに転換するザ・ニューズペーパーが町田にやってきます!(全席指定3,500円)

PRESENT B

合計
10名様

クラフト工房LaMano
草木染の手織りマフラー・
手ぬぐい・カレンダー

豊かな自然に囲まれた町田市金井のクラフト工房LaManoから、草木で染めた毛糸で織ったマフラーを2名様、型染め手ぬぐいを3名様、アート作品を集めた2019年カレンダーを5名様に。ご希望のアイテムを記載のこと。

PRESENT D

2組
4名様

俊宣茶房
ランチコースをペアで



日常の慌ただしさを忘れられる自然の中の隠れ家レストラン俊宣茶房(町田市野津田町1599-6)。別荘をリノベーションしたこだわりの空間で味わうランチのランチコース(税込込み1人3600円)をペアで。

PRESENT C

1名様

「サトミツ&ザ・トイレッツ」
サイン入りCD

町田市生まれ、町田市在住のお笑いタレント「サトミツ」こと、ときどきキャンプ佐藤満春さん率いる世界初のトイレバンド「サトミツ&ザ・トイレッツ」のデビューシングル『あしたのトイレに行こう』をサイン入りで。

Q1 「まちびと」秋冬号をご覧になっていかがでしたか?

- ① 良かった
- ② 普通
- ③ 良くなかった ※良くなかった理由も教えてください

Q2 「まちびと」をどこで入手されましたか?

- ① 町内会・自治会での回覧
- ② 市の公共施設
- ③ その他

Q3 おもしろかった記事を教えてください(複数回答可)

- ① 特集1(美術館・博物館にでかけよう)
- ② 特集2(白洲正子)
- ③ 特集3(荒谷俊治)
- ④ 街を歩く～小山田～
- ⑤ Theまち人 鞍掛台自治会
- ⑥ Theまち人 NPO法人 LaMano
- ⑦ マチダdeグルメ
- ⑧ Machibito-Snap
- ⑨ まちびと写真館
- ⑩ NEWS & INFORMATION
- ⑪ プレゼント&アンケート
- ⑫ カイルカードのマチダ・ダマシイ
- ⑬ まちびとひろば
- ⑭ 住まいを考える

Q4 今回の記事で参加や申し込み、お出かけなど、実際に行動したくなった情報はありましたか?

- ① あった ()
- ② なかった

Q5 これからの町田市に期待することを教えてください

Q6 今号の「まちびと」へのご意見や感想をお願いします

Q7 今後取り上げてほしい記事や特集を教えてください

Q8 ご希望のプレゼント番号をお選びください
A・B()・C・D

ご住所 〒	-	都道 府県	郡市 区
フリガナ			
お名前		TEL	- - 年齢
男・女	ペンネーム	E-mail	

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。※個人情報の管理について「まちびと」は、読者や利用者のプライバシーを尊重し、個人情報の管理に細心の注意を払い、厳重に取り扱います。※アンケートの内容は、誌面に掲載する場合がございます。匿名希望の場合は、ペンネームをご記入ください。



読者からのお便り — From Readers

●夏や秋のお祭り特集で楽しくなりました。今年はおもったくさんのお祭りに足を運びたいです。(高ヶ坂 gaosaan)

●「街を歩く」で三輪町が開けた町なのだと思えました。(忠生 天花さん)

●関根選手の活躍が楽しみです、また大会の報告が見たいです。(金井町 みるくちゃん)

●無形民俗文化財、知りませんでした。ぜひ、みてみたいです。読みやすく、次号が楽しみです。(木曾東 かぼさん)

●町田に色々なお祭りがあることがわかってとても参考になりました。子ども達と一緒に出かけ出来るスポットの特集をお願いします。(根岸 くまさん)

●町田出身や在住の有名人のエピソードはなんとなく自慢できることで嬉しくなります。町田市の西方、相原や鍾水の話題がもっとあると思います。(小山ヶ丘 S・Mさん)

●鶴川に住んでいた歴史的な人物の記事に鶴川への愛着を深めました。(鶴川 井上英子さん)

第11回
映画で
マチダを
熱くする!



PROFILE
カイル カード

町田市在住 カナダバンクーバー出身
「5時に夢中(東京MX)」、「ものまね
グランプリ(日テレ)」の他、映画
『永遠の0』『バンクーバーの朝日』
などに出演。パーソナルトレーニ
ングジム・RIZAPのCMではビ
フォーアフターで絞上げた肉体
美を披露した。NHK Eテレの「エ
イエイGO!」ではスペースレン
ジャー役で出演中。流暢な日本
語、カナダユーモアを織り交ぜた
トークで、俳優・モデル・MCな
ど幅広く活躍。特技はものまね、
オペラ、ウェイトトレーニング

すっかり秋も深まってきまし
た。しかし、今年の夏は暑かった
ですね!もう毎日が辛くて辛
くて、早く秋になって、焼き芋や
旬の美味しいものが食べられま
すように♡と願っていました。
今回は僕がいまチャレンジ
していること、そして町田のポ
テンシャルについてお話しした
と思います。僕は「東京カウ
ボーイズ」という短編映画プ
ロダクションの一員で、この春
『The Benz a』(そう、あの
便座です!)という短編映画を
作りました。ルームシェアをし
ている二人のアメリカ人が、な
ぜか突然壊れてしまった便座
を探して、あちこち奔走する
というコメディで、クライマックス

は町田市木曾西の愛知金物建
材さんで撮影させていただき
ました。皆さんの協力でいい
シーンが撮れ、日本だけでなく、
海外のフィルムフェスティバルで
も上映され、賞もたくさんいた
だくことができました!少し
ですが町田を世界に発信でき
て、とても嬉しい気持ちです。
そして、夏真っ盛りの8月に
は、30カ国以上の映画制作者が
参加し、100カ国を超える作
品が上映された韓国の映画祭
にノミネートされ、ソウルまで
行ってきました。そしてなんと、
ベストパイロット賞を受賞、韓
国のオンデマンドサービスでシ
リーズ化も決定し、この秋から
続編の撮影も始まりました。

もちろん、撮影地は町田です!
韓国で今回強く感じたのは、
映画祭はやはり国際交流や観
光アピールのポテンシャルが半
端ないということ。もちろん、
観光地とコラボした作品はこ
れまでもたくさんあったでしょ
う。そこで撮影するだけでな
く、ストーリーの中にその土地
の伝統や観光スポット、ご当地
グルメなどをしっかり盛り込
み、より効果的に撮影したりテ
ロップを入れたりしたら…とて
もいい観光アピールになります
よね。そんなことを考えていた

ら、この町田も大きなポテン
シャルがあって、いい作品が撮
れるに違いないと気づいてし
まったのです!
韓国で観たような凄い作品
にはまだまだほど遠いかもし
れないけど、いつか町田の魅力
がいっぱい詰まったいい映画が
撮れたらなあ…♡と考えてい
ます。自慢したい素敵な場所
が山ほどある町田。ココが世界
有数のロケ地になってたくさ
んの人が町田の魅力を知って
もらえたら…こんなに嬉しいこ
とはありません!

●町田に40年余住んでいます、こ
んなに沢山のまつりの行事があることを
初めて知りました。元気で活躍されて
いる高齢者をご紹介ください。(山崎町 佐々木晴代さん)

●三輪町の不思議に思っていたことが
理解できました。また、災害の時、町田
で生きるには、地域のとりくみを知り
たいです。(中町 花猫さん)

編集部より — Editor's Note

仕事柄、各界の著名な方々によくお
会いしますが、今回取材させていただ
いた荒谷先生はそれはそれは素敵なか
た先生を知の方々が皆、口を揃え
て先生を称え敬うのはこういうこと
だったのか!と瞬時に納得できたほど
でした。そういえば、10月の初旬にはマ
ラソンの日本記録が塗り替えられまし
たが、その偉業を成し遂げた大迫選手
も町田生まれ、町田育ち。「モノ」や
「コト」だけでなく、世界に誇れる「まちび
と」をこれからもたくさんご紹介してい
きたいと思っています。

夏号で掲載した「金井獅子舞」の記事に誤りが
ありました。お詫びして、左記のとおり訂正い
たします。
誤 9月8日(土)・9日(日)
正 9月16日(日)

町田の魅力をたっぷりご紹介!

次号まちびと 2019年春号は 2019年3月15日発行です

「まちびと」は、市民センターや図書館等の公共施設窓口のほか、市内の郵便局・農協の各支店・病院や美容院・スーパー等、約600箇所に設置しています。また、町田市役所2階、市民協働推進課 おうえん広場内の「NPO・地域活動情報コーナー」では、最新号や在庫のあるバックナンバーもございます。なお、町田市の公式ホームページでもPDF版と電子ブック版をご覧ください。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/community/shimin/katsudou/machibito/>

高度成長期に分譲された藤の台団地で子育て期を過ごしたK夫妻。その後は杉並に暮らしたが、子どもたちも独立し、そろそろ夫婦でゆつくり暮らしたいと、2018年の夏、懐かしの我が家へ戻ってきた。その際、75平米の南向き3LDKだった住戸を、二人暮らしに合わせてリノベーションすることに決めた。

玄関を開けるとそこは木の香りに包まれ、おおよそ団地の一室とは思えない端正な空間が広がっていた。南に面した大きな窓からは緑豊かな玉川学園の家並みが望め、見晴らしも抜群だ。

「窓ごしの風景を眺めながらキッチンでお皿が洗えるんです。どこにいても光が差し込んで本当に明るい。嬉しいのは、前の家を使っていた家具をそのまま持ってこれたこと。狭い団地には入らないだろうと諦めていたんです。」

そう語る奥様は、家のことを話し始めると笑顔が溢れた。ご主人が集めた鉄道模型が飾られた奥行き浅いオーダーメイドの家具は、杉並の家で使っていたの。壁面収納に転用し、今でも家の真ん中でご主人の生活に潤いを与えている。全国を回って集めた大量の鉄道資料や思い出の詰まった写真たちも、スライド収納の中で整然と並ぶ。これも前の家で使っていた特注品で、使い勝手の良さや抜群の収納力が気に入り、再利用することにした。台所に置かれた大きな食器棚も何十年も使った愛着があるものだ。

低い天井と小さな和室。そんな団地ならではの間取りはほとんど取り払われ、一つのびやかな空間に生まれ変わった。どこにいても互いの気配を感じられるオープンなスペースを、南から差し込む柔らかな日差しが包み込んでくれる。リビングに隣接した和室も障子を開け放せば、さらに広がりが増す。

床材のモミの木には浮造り加工が施され、裸足で歩くと気持ちがいい。段差や敷居は全て撤去され、

築50年の団地も快適に、美しく暮らしが豊かになるリノベーション。昭和の面影が漂う雰囲気や、昔ながらの細かい間取り。そんな団地を住まい手のライフスタイルに合わせた空間へ。人生が楽しくなる団地リノベーションのレポートです。



1. リビングの大きな窓の光が差し込む廊下。床と壁に用いたモミ材は、浮造り仕上げで光と影を映す。左には和室、右にはキッチン 2. 昼間なら自然光で十分明るい対面式のキッチン。リビングとして使用している 4. 洗面とトイレは一つの空間にして、開放感と使いやすさを実現した。扉は引き戸に、床もバリアフリーに 5. 暗い印象だった北側の玄関も、木の質感を活かし、清潔感溢れる隣接する和室へも視界が広がる 3. 趣味の習字を楽しむ和室は障子を閉めて客間にすることも。普段は障子を明け放ち、オープンなスペース明るい空間に生まれ変わった

バリアフリーになった室内は転倒の心配もない。夜には足元を照らすフットライトが自動で点灯する。「団地に住んでいることを忘れてしまいたいので、これまで変わるとは思いもよらなかった。全体的に新しく、綺麗になるくらいなのかと思っていたから。それと、猛暑だったこの夏の電気代が8千円程度で済んだんですよ。」驚きを隠せないのはご主人だ。

光熱費を抑えることができたのは、高性能の断熱素材をしっかりと入れ、二重窓にすることで外気を遮断しているから。一方、冬の寒さ対策に窓際の床に敷いた陶板は、太陽が低くなる冬は太陽熱を集める蓄熱体として部屋を暖めてくれる。

古くて使い慣れたものは大切に、最新の住宅設備や自然素材を効果的に取り入れ、住みやすさだけでなく安全や安心、そしてコストダウンもかなえてくれた鈴木工務店のリノベーションは、暮らし方そのものを変えてくれたことだったのだ。居心地の良さと、思い出の品に囲まれたK夫妻は、町田で始まるこれからの青春を謳歌していく。

建物完成見学会

11月23日(金・祝)
24日(土)
25日(日)

会場：町田市広袴 ●予約制。要問合せ
「集う風景」リアルZEH* OMXの家



※家電消費を含むゼロエネルギーハウス 延床面積：111.76㎡

株式会社 鈴木工務店

195-0053 東京都町田市能ヶ谷3-6-22
tel 042-735-5771 www.suzuki-koumuten.co.jp



未来のために 今、私たち創建ができること。

かけがえのない自然を守り、誰もが健康で安心して暮らせるように

私たちは自然と共生する町づくりを目指しています。

この先何年、何十年と続く子ども達、そしてその先に続く未来まで

健やかに暮らせる心休まる場所となるように

綺麗な空気と豊かな自然を守っていくことも私たちの使命です。

“土地を活かし、人が集い、町が輝く”ために——。

町田の未来を考える。私たちは創建です。

土地開発やマイホームのことならなんでもお気軽にご相談ください



豊かな暮らし…かなえる住まいづくり

株式会社 **創建**

住宅事業部

☎042-794-2311

建築事業部

☎042-792-7887

〒194-0037 東京都町田市木曽西3-9-3

<http://www.soken-re.com>

町田 創建

検索 🔍

宅地建物取引業 東京都知事(6)第70091号 / 一級建築士事務所 東京都知事登録第56506号 / 特定建設業 東京都知事許可(特-27)第135277号